

## ひろしま脳卒中地域連携パスについて

広島県地域保健対策協議会において、平成21年度に県内共通版の地域連携パスを作成し(平成28年度改定)、「ひろしま脳卒中地域連携パス」を県内医療機関等で活用しています。

当協議会では、県内のどこで脳卒中を発病・再発しても、関係機関のスムーズな連携により、切れ目のない医療サービスが提供できるよう、関係医療機関等と連携し、「ひろしま脳卒中地域連携パス」の一層の普及を進め、診療情報やリハビリテーションを含む治療計画などの患者情報を関係機関が共有し、必要な医療や介護サービス等を提供することで、在宅療養が可能な体制づくりを推進しています。

脳卒中を発症した場合、次のような多様な医療・ケアを、多くの提供者が連携して、継続的に行うことが必要になりますので、各段階の医療機関や介護サービス事業所が情報を共有することが求められています。

- ① 救急医療における内科的・外科的治療
- ② 急性期におけるリハビリテーション
- ③ 身体機能を回復させるリハビリテーション
- ④ 日常生活に復帰させるリハビリテーション
- ⑤ 障害が残れば介護サービスと医療サービスを受けながらの長期ケア

